

令和5年度の重点課題

【情緒面での課題】

○男子

・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きと肯定的に答える児童の割合が94%である。(昨年同値)高学年に上がるにつれて、否定的に答える児童の割合が増加傾向にある。

○女子

・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きと肯定的に答える児童の割合が95%(4%up)である。

○全体

・遊びのルールを守り、友だちを大切にしてお遊びをすることができる児童が98%、できないと答える児童が2%いる。

【体力面での課題】

○全国・県平均を下回っているもの(第5学年)

・男子は「立ち幅跳び」、女子は「長座体前屈」である。

○全体

・1日の活動時間が30分未満の児童が26%である。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○カリキュラムマネジメントを行い、体育的行事との関連を意識して、効果的に運動能力を高められるように単元構成の見直しを図った。
○体力を高めるため、月1回体育朝会を実施した。

○12月に「ドッジボール大会」「持久走記録会」を開催した。

○児童会の体育委員会が主体となって、昔遊びの「ぐるぐるじゃんけん」を紹介し、普及を図った。

○食育を通して、適切な配膳と、正しい姿勢での食事について指導し、食事の時間を確保し、残菜を減らす取組を実施した。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.03	19.90	28.07	42.31	41.48	9.59	138.10	23.69	50.86	第5学年	17.42	19.50	35.13	38.61	33.71	10.02	139.95	15.16	54.24

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.03	19.90	28.07	42.31	41.48	9.59	138.10	23.69	50.86	第5学年	17.42	19.50	35.13	38.61	33.71	10.02	139.95	15.16	54.24

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	58.62	34.48	0.00	6.90	第5学年	38.46	61.54	0.00	0.00

学校独自の意識調査

	体育の時間や行事の時に、目標をもって運動をしていますか。			
	している	少ししている	あまりしていない	していない
1年	59%	29%		5%
2年	74%	20%		3%
3年	58%	33%		5%
4年	65%	28%		5%
5年	46%	43%		5%
6年	72%	22%		5%
合計	91%			9%

重点課題

情意面での課題

○男子

・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが嫌いと答える児童の割合が6.9%である。(前年比6.9%↓)

○女子

・運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きと肯定的に答える児童の割合が100%である。(前年比3.7%↑)

体力面での課題

○全国・県平均を下回っているもの(第5学年)

・男子女子共に、「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」「体力総合点」である。

○全体

・新体力テストの総合評価のAB率26.9%、DE率35.8%((AD-DE)率-9.0)

令和7年度の
重点目標値

○運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが、好きと肯定的に答える児童の割合を95%以上にする。

○「長座体前屈」「反復横跳び」を全国平均以上にする。

○1日の活動時間が30分未満の児童の割合を25%以下にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○体づくり運動を重視するとともに、筋力・柔軟性に繋がる補強運動を重点的に取り入れる。また、保健安全部を中心に、カリキュラムマネジメントを行い、体育的行事との関連を意識して、効果的に運動能力を高められるように授業改善を行う。
○各単元の自分なりの目標を持たせ、目標に向かって取り組み、達成感が得られるようにする。(がんばりカードの作成：持久走、水泳、なわとび)
○児童自身が運動能力の伸びを実感したり、友だちの動きからよりよい動きを獲得したりできるように、積極的ICT機器の活用を図る。

体育の授業以外で行う取組内容

【体力向上】

○体力(俊敏性・調整力)の向上のため、第二火曜日の体育朝会において、全校でなわとび、鬼遊び、柔軟運動に取り組む。

○増築工事により、運動場の遊び場が制限されるため、鬼遊びのエリアを設定したり、学年ごとに遊ぶ時間を指定したり、体育館を開放したりして、児童の遊ぶ場や機会を確保する。

○休憩時間以外遊びをするように、担任や体育委員会を中心に呼びかけを行ったり、遊びを紹介したりする。

【生活習慣】

○年間3回、養護教諭からの保健指導を全児童に対して行う。

○食育を通して、食の大切さを伝え、残菜率年間2%以下を目指す取組を実施する。

○保健だよりや学年通信に、本校の運動面における課題や家庭でできる運動を紹介するなどして家庭への啓発を行う。